

## マッシー・ザメンコ「マッシーの日本留学」

私は、2009年に日本へ留学することを決めました。イタリアで機械工学の大学を卒業した後、4年間会社で働いていました。ずっと続けられる仕事でしたが、もっと学校で勉強したいと考えました。でもなぜ日本で留学することを選んだのか？ヨーロッパならば、どこでもイタリアからとても近くて、2時間だけで飛行機で帰れますし、文化もだいたい同じです。その頃、妹が日本で暮らしていました。彼女は日本語をぺらぺら話しているので、良いチャンスだと思いました。幸運にも東京工業大学の留学生プログラムは全部英語なので、授業のためには日本語が必須ではなかったです。

実は2007年に日本に観光に来たことがありました。その時にとても住みやすいと思いました。イタリアではいつも車で仕事や遊びに行きましたが、渋滞が多いので運転はとても面倒でした。日本では、特に都心では、鉄道がたくさんあるのでどこへでも行けます。電車に乗ることが好きだから、通学も楽しいです（ラッシュ時間は別ですけど）。

日本での勉強や研究も好きですけど、日本に来て見つけた一番楽しい研究はアジア料理です。イタリアではアジア料理が全然ありません。小さいころイタリアで中華料理を食べたことがあります。その頃は、とても珍しいレストランでした。最近やっとイタリアでもお寿司が人気になりましたが、とても高いです。イタリアでは他国の料理のお店はあまりありません。日本でいろいろな料理を発見しました。イタリアでは甘酸っぱい味は珍しいです。甘いかしょっぱいかのどちらかです。日本に来て、いろいろ違った味があることを知り、新しい料理にチャレンジするのが楽しいです。

実際に料理の材料（お肉、お魚、野菜）はだいたい同じなのに、時々、イタリア人にとっては、変な食べ物があります。例えば、ねばねばした食べ物（納豆とかとろろ）。でも、大事なことはチャレンジです。もちろん、時々好きになれないものもありますが、それが分かるということは、新しいことを学んだということです。一番驚いたのはインド料理でした。インドカレーの臭いは強いし、何が入っているのかわからないので、初めはあまり食べたくなかったのです。でも、ある日、友達とランチをして初めてインドカレーを食べた時に、夕食にもインドカレーを食べたほどおいしかったです。

日本に来た時からよく旅行をしています。休みの日ではなくても、学会はチャンスです。留学前には、このチャンスはあまりありませんでした。例えば、ヨーロッパで一番有名なパリとロンドンにまだ行ったことがありません・・・それはとても珍しいです！30年の間に行ったのは、バルセロナ、アムステルダム、ベルリン、ウィーンだけでした。逆に、留学の4年間でソウル、濟州島、クアラルンプール、ハワイ（2回）、ロサンゼルス、バンコク、次はバリ島（渥美財団のおかげです）。地球は本当に大きいです。いろいろな都

市を観光しましたが、田舎に行ったときには、とてもきれいな自然を楽しむことができます。日本国内をあちこち見物しました。東北から関西、九州にも行きました。ほとんど毎回新幹線に乗りました。窓から外を見るのが好きです。自然を見ることができますし、田舎がどんなか分かります。多分、一番きれいなイメージは、素晴らしい技術の結晶に乗りながら富士山を近くに見ることです。本当に 最高のランドマーク！

最後にアジア人はイタリアのことが好きです。料理とか、おしゃれな服とか、カッコいい車・・・自慢です！

この4年間にとても良い経験ができました。アジアは私の文化と違うことがたくさんありますので、たくさん知らなかった秘密を見つけましたが、まだもっとたくさんの秘密があると私は思っています。

また、アジアの中でも国によってさらに違う文化があることを知っています。その多様性が私は本当に好きです。どの国にも共通することは、皆さん優しいし丁寧なことです。アジア人と暮らしているので、私も昔より優しく丁寧な人に成長できそうです。